自動車用盗難警報装置

守護神

SS－150 +24V

取付け・取扱い説明書
保証書

この度は、自動車用盗難警報装置　守護神（SSー150+24V）をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付け及び、取扱い手順が説明されております。正しくご使用いただく為に本書をよくお読みの上、ご使用ください。尚、読み終えた後いつでも見られるよう大切に保管してください。

⚠ 注意

本製品は、車体への衝撃などをを感知し警告を行う装置です。車上ねらい、車輌盗難等への防犯効果は多大ですが、防止機ではありません。また、なんらかの手段で盗難警報装置を解除し車輌に被害を与える場合も想定されます。本製品の作動の有無にかかわらず車輌盗難、車上ねらい、車輌へのイタズラ等が発生しましても、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

目　次

COMTEC

ご使用上の注意

ご使用の前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。又、注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為、誤った取り扱いをすると生じる恐れのある内容を「警告」・「注意」の2つに分けています。

警告 警告を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡や重傷を被る可能性があります。

注意を無視した取り扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。

⚠ 警告

●本製品を分解、改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
●運転中は、本製品を絶対に操作しないでください。わき見運転は、事故の原因となります。
●本製品は、運転や視界の妨げにならず、車輌の機能（エアバック等）の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。
●本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車輌故障の原因となります。
●本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
●本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波により医療機器に影響を与える恐れがあります。
●本製品を不用意に人や動物の近くで作動させないでください。聴覚障害になる恐れがあります。

⚠ 注意

●本製品にはお買い上げの日から1年間の保証がついています。（ただし、ヒューズ・両面テープ等の消耗品は、保証の対象になりません）
●万一、製品本体にロット番号シールがない場合は、商品をご使用になる前に弊社へご連絡ください。
●保証書には、必ず「販売店名」「お買い上げ日」が記入されているか、記載の内容をご確認いただき、大切に保管してください。
●リモコンに電池を入れる時プラスドライバーが必要になります。
●24V車のみ使用可能です。12V車には使用できませんのでご注意ください。
●エンジンをOFFにしてもシガーライターソケットに常時電源が供給されてる車の場合、エンジン停止している時はシガーライターソケットから付属のシガーコードを抜いて下さい。バッテリー上がりの原因になります。又、本製品をスタートする前には付属のシガーコードを抜いて下さい。（シガープラグをシガーライターソケットに差し込んだ状態だとキャンセルタイマーが作動しSS-150+24Vが作動しません。）
●指定の電池以外は使用しないでください。
●本体/リモコン/センサーユニットを直射日光が当たる場所に設置・放置しないで下さい。
●本製品の取付けは、確実に固定してください。固定が不十分ですと誤作動の原因となります。
●本取付け・取扱い説明書内のイラストは、製品と一部異なる場合があります。
●本製品を修理・点検依頼された場合、修理期間中は別商品の貸出し（代替品）などのサービスは行っておりません。
●本製品を修理・点検期間中又は故障などによる作動不良時における車輌盗難、車上狙い、車輌へのイタズラ等が発生しても、弊社では一切の責任は負いかねます。
●本製品は守護神SS-150のリモコンを使用している為、本製品で使用できない機能をリモコン操作により表示しますが本製品の機能以外は作動しませんのでご了承ください。
●シガープラグ電源コードは約3mです。その範囲でメインユニットを取付けて下さい。
●本製品作動中（監視中）に無線機等を使用、又は電源がONした状態にすると誤動作の原因となりますので使用しないで下さい。
●本リモコンは防水加工されていません。雨、水等のかかる場所や濡れた手での操作は避けてください。又、リモコン内部に水分が侵入した場合、故障の原因となり修理不可となる事があります

●備考　「守護神」は、商標登録第2291392号の表示許諾契約を締結しています。

おもな特長

●ドットマトリックス液晶表示リモコン
液晶（2色）のドットマトリックス表示により多彩な文字（日本語・英語）やイラストの表示が可能になりリモコン操作、警報内容がわかりやすくなりました。

●振動と人感のダブルセンサーで監視
車輌の衝撃を本体内蔵とセンサーユニット内蔵の振動センサーで監視し、車輌のドアを開けられ人の侵入をセンサーユニットの人感センサーで監視します。センサー別に本体スピーカーから警報を鳴らし、リモコンにお知らせします。

●2つから選べるセキュリティモード機能
環境によってスタンダード、シティモードの2つからリモコン操作でセキュリティのスタートが可能。
（例：シティモード・・・振動センサーをOFFにしてドアオープンのみ警報します。）

●パニックアラーム機能
車に不審者を確認した時、リモコン操作により電子音を鳴らす事ができます。

●特定省電力アンサーバックシステムリモコン
アンサーバック搭載システムリモコンがリアルタイムに車の異常を表示＆アラームでお知らせします。車から離れても特定省電力リモコンなので大丈夫。※電波到達距離　直線見通し2500M、市街地は最大で500M（当社測定による最高値です。場所によっては周囲の電波の影響を受け、通信距離が極端に短くなる場合があります。）

●充電式リモコン
リモコンは充電式とし、付属の専用充電器（AC100V）で充電を行なえば約3日間（無警報、連続監視状態）は充電不要。
※使用頻度、警報頻度によっては使用時間が短くなります。

●多彩なリモコン機能
リモコン操作により圏内、圏外表示やリモコン音を消音、アラーム、メロディ音などの操作が可能。

●リモコンの追加可能
SS-150+24Vのリモコンを全部で3個まで登録可能。

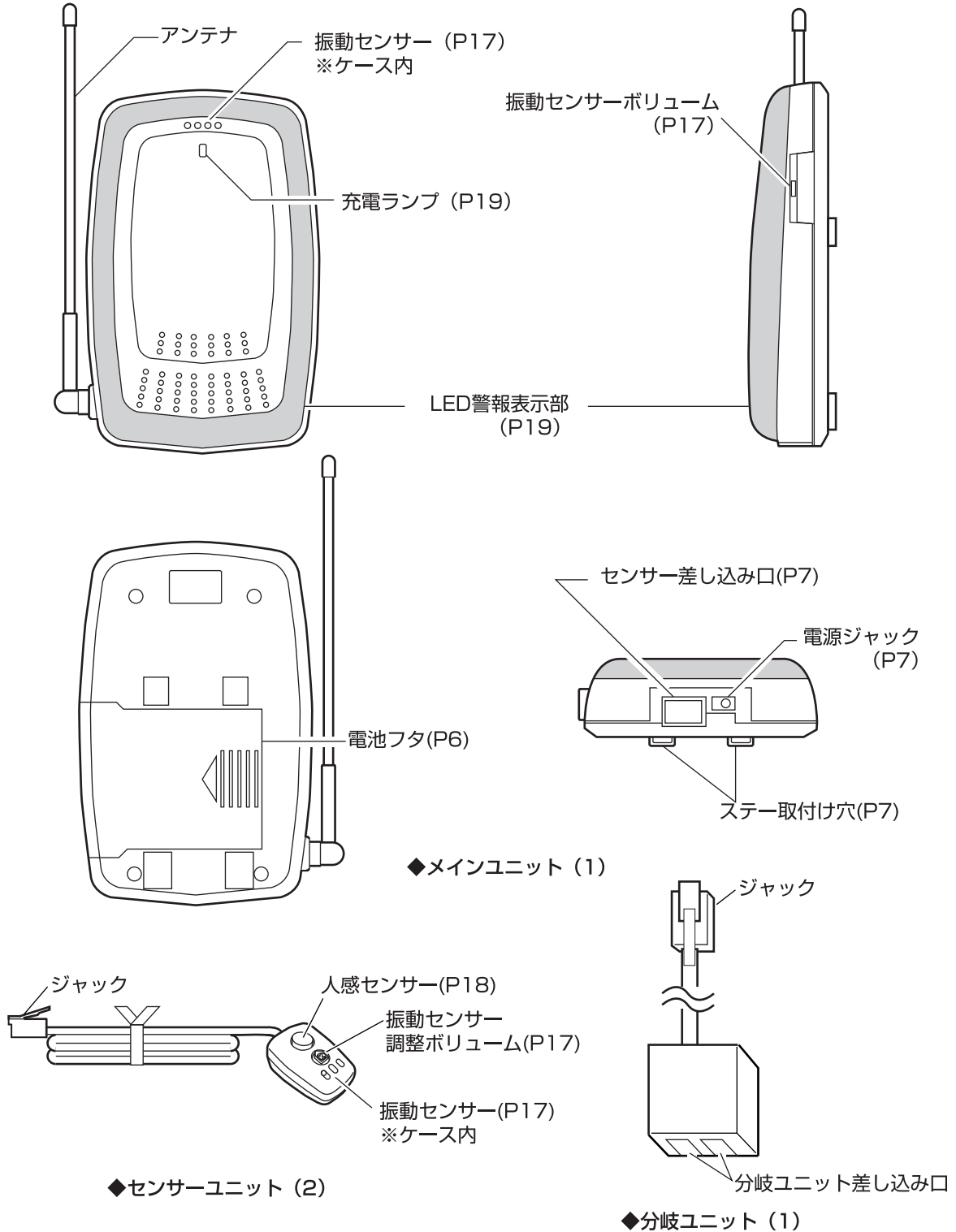
●高輝度LEDによる監視機能＆警告機能
本製品が車輌監視状態の時、4個の高輝度LEDが点滅し不審者を威嚇します。又、センサーが感知すると高輝度LEDのフラッシュ点滅で警告を行います。

●スピーカーを本体に内蔵
スタート/ストップ時又は警報時に本体内蔵スピーカーからアラーム警報を行ないます。

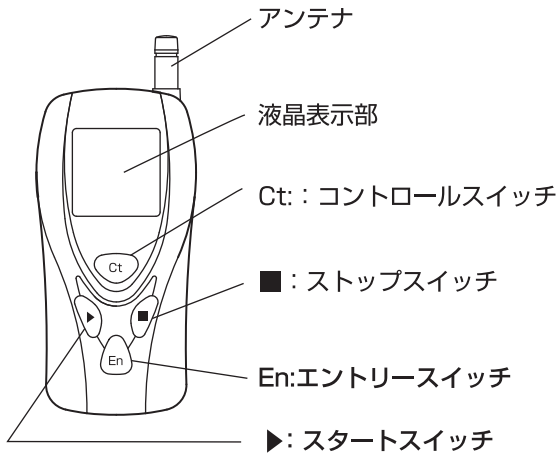
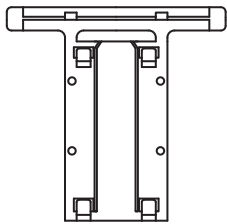
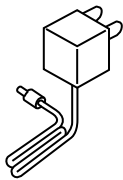
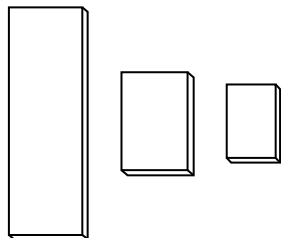
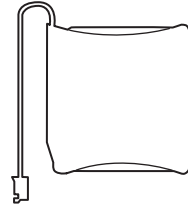
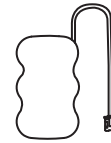
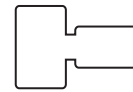
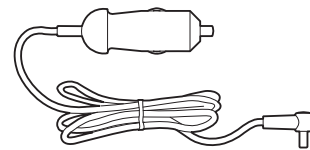
●履歴機能
停車中の車輌に異常が起きた時、警報の内容をリモコン（表示）で確認できます。

●バッテリー内蔵メインユニット
車内に侵入され電源コードを抜かれてもメインユニット内蔵バッテリーで動作しているので警報を行ない又、リモコンに異常をお知らせします。フル充電で約7日（無警報、連続監視状態）作動します。
※使用頻度、警報頻度によっては使用時間が短くなります。

各部の名称
（セット内容）

※（　）内はセット数量

注：取扱説明書内イラストと実際の商品は一部形状が異なる場合があります。

各部の名称

（セット内容）

アンテナ
液晶表示部
Ct:：コントロールスイッチ
■：ストップスイッチ
En:エントリースイッチ
▶: スタートスイッチ
Ct
En
※リモコン操作一覧はP10を参照してください。
◆リモコン（1）
◆メインユニット用電池（1）
◆リモコン用電池（1）
◆調整用ドライバー（1）
◆ユニットステー（1）
◆センサーステー（2）
◆コードクランプ（7）
◆専用ACアダプター（1）
◆専用シガープラグコード（1）
◆両面テープ大（2）
中（1）
小（4）
盗難警報機装着車
盗難警報機装着車
◆ステッカー（1シート）
※車輌の窓ガラス等に貼ってください。

取付け/接続方法

◆取付け全体図

例：本体ユニット、センサーユニットを室内後部に取付け

運転席上から見た図

シガープラグ

シガープラグコード

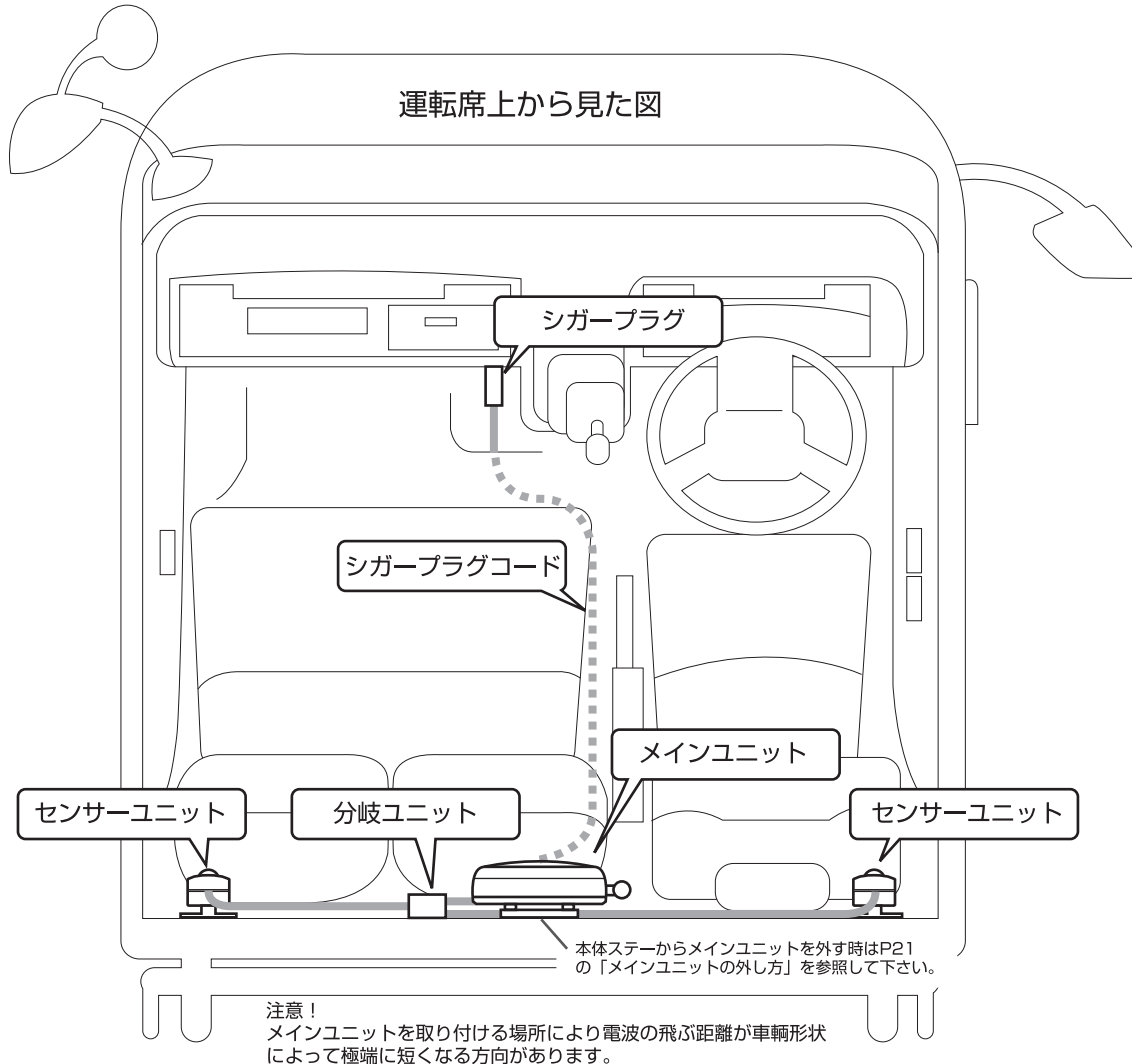
メインユニット

センサーユニット

分岐ユニット

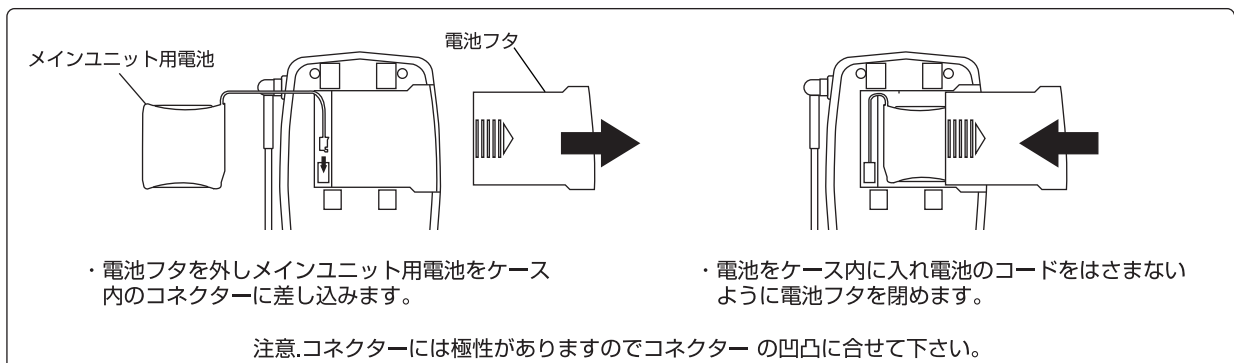
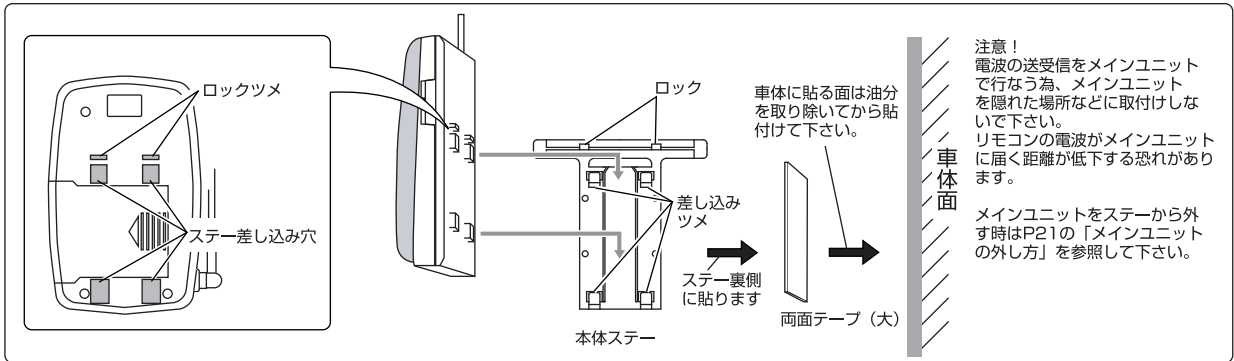
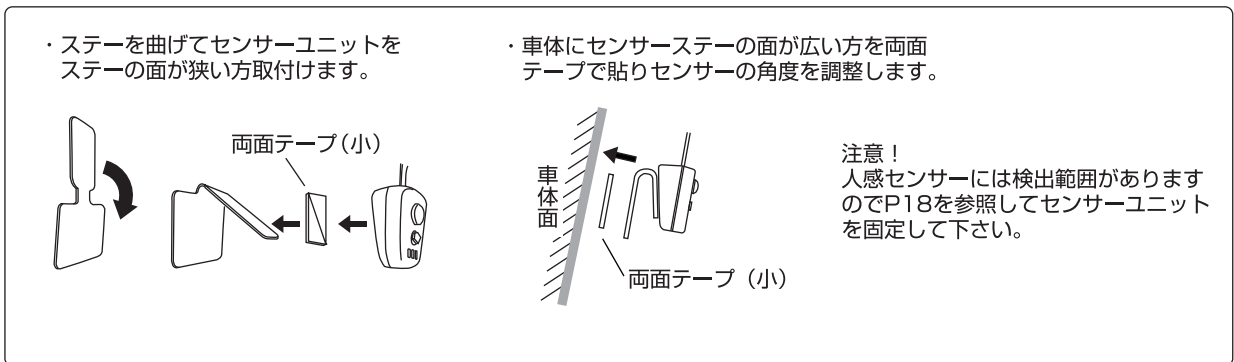
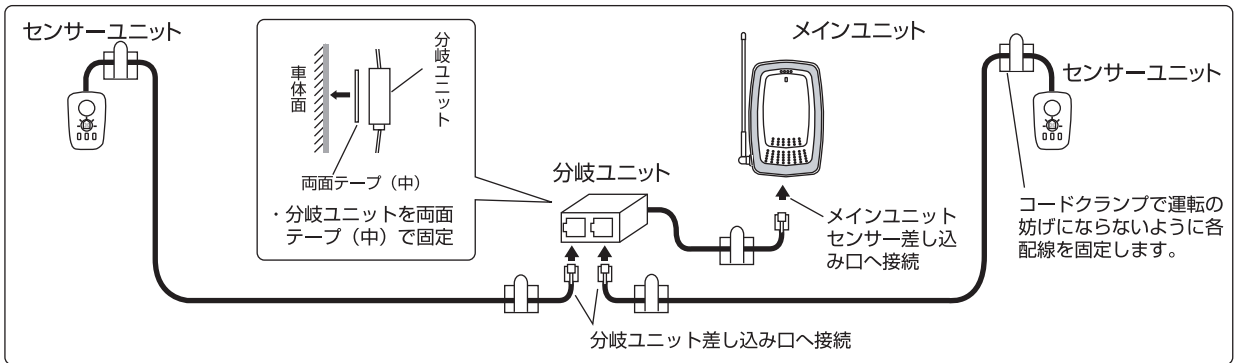
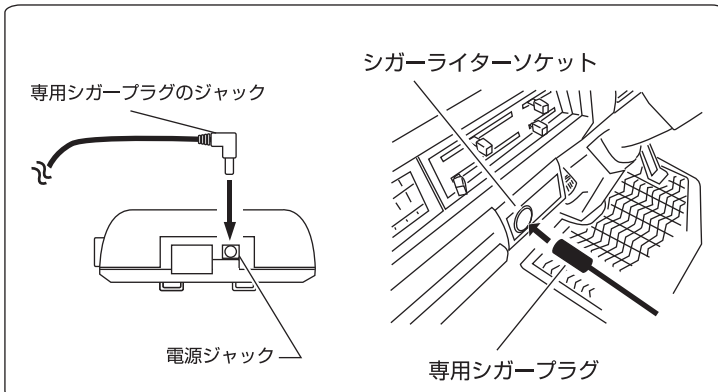
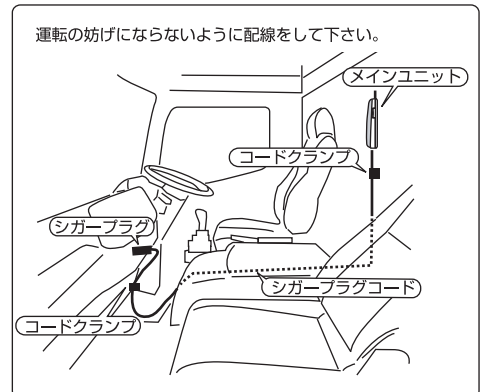
センサーユニット

本体ステーからメインユニットを外す時はP21
の「メインユニットの外し方」を参照して下さい。

注意！
メインユニットを取り付ける場所により電波の飛ぶ距離が車輌形状
によって極端に短くなる方向があります。

1 メインユニットにメインユニット用電池を入れます。

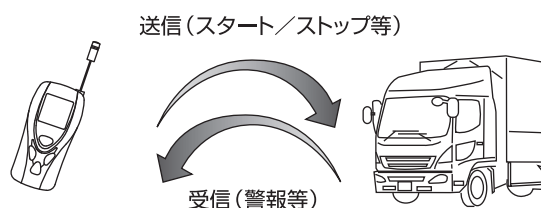
・電池フタを外しメインユニット用電池をケース内のコネクターに差し込みます。

・電池をケース内に入れ電池のコードをはさまないように電池フタを閉めます。

注意.コネクターには極性がありますのでコネクター の凹凸に合せて下さい。

2 ユニットステーを両面テープ（大）で車輌に取付け、メインユニットの差し込み穴をステーの差し込みツメに合せてメインユニットを上からスライドさせ取付けます。メインユニットのロックツメがステーのロックにはまるまでスライドさせます。

3 センサーステーを曲げ、センサーユニットを両面（小）テープで貼り反対側を両面テープ（小）で車輌に取付けます。

4 センサーユニットを分岐ユニットに接続し分岐ユニットの配線側をメインユニットのセンサー差し込み口に接続します。分岐ユニットは両面テープ（中）で配線はコードクランプを使用して運転の妨げにならないように固定して下さい。

5 専用シガープラグコードのプラグ側を車のシガーライターソケットに差し込み専用シガープラグのジャック側をメインユニット電源ジャックに接続します。

リモコンについて

⚠注意
- ●本リモコンは防水加工されていません。雨、水等のかかる場所や濡れた手での操作は避けてください。又、リモコン内部に水分が侵入した場合、故障の原因となり修理不可となる事があります。
- ●本リモコンは充電式です。出荷時は充電済みの状態ですが、自然放電する場合もあります。ご使用前に必ず充電を行ってください。
- ●本リモコンはアンサーバックタイプを採用し、お車の異常をリモコンでお知らせしますが、鞄や机の引出し中や金属の上等に置くと電波を受信できなくなる場合があります。

◆アンサーバックについて

●本製品は、リモコンとアンテナユニット間で互いに送受信を行い本機のスタート／ストップを始め、振動センサー、人感センサーの反応があった時、リモコンへお知らせします。

※同じ周波数帯の電波が周辺に出ている場合、リモコンで電波を出すとリモコンから『ブッブッブッ』と音が鳴り送信を行ないません。

◆リモコンご使用前に

※リモコンを使用する前に必ずリモコンを充電（P9参照）してください。

●商品出荷時は電池の消耗を防ぐ為、電池を外して、リモコン電源OFFの状態です。ご使用時はリモコンに電池を入れ電源ON状態（P11）でご使用ください。又、長期間使用しない場合（車を使わない旅行等）は、電池の消耗を防ぐ為　リモコンの電池を外す事をお勧めします。

○充電池の入れ方

※リモコンに電池を入れた後、リモコンを使用する前にID登録（P16）を行なってください。

・ドライバーでリモコンの裏フタのネジを回し外し裏フタを上（ネジ側）から外します。

・リモコン充電池の２Pコネクターをリモコンの２Pコネクターに差し込みリモコン電池をリモコンに納めます。

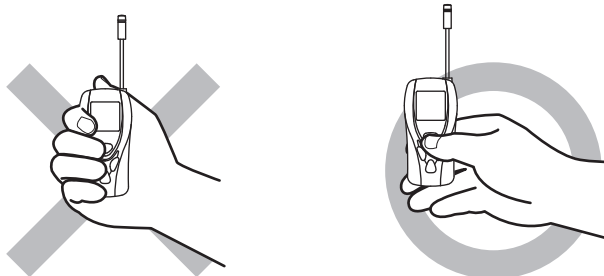
注.2Pコネクターは極性がありますのでコネクターの凹凸に合せて差し込んで下さい。

・ツメ側から裏フタを入れてビスをドライバーで回し取付けて下さい。

注.あまりビスを強くシメ過ぎるとケースが壊れますので注意してください。

※リモコン裏フタをしめる（閉じる）時はリモコン電池の配線を裏フタに挟まないように注意してください。

◆リモコン操作方法

●リモコンを操作する場合は、電波の送信性を安定させる為に必ずアンテナをのばし、リモコンケースを手で包み込む事のないように操作してください。

リモコンについて

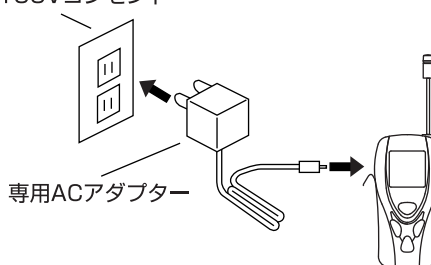
◆リモコンの充電方法

※充電中でもリモコン警報の受信はできます。

●充電について

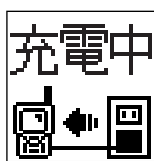
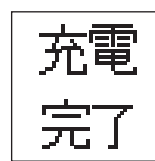
・本製品はトリクル充電式です。満充電するのに電池残量が全くない状態から（めやす）約4時間かかります。
・満充電後、更に充電を続けても問題はありませんが、充電完了後はすみやかに専用ACアダプターをはずしてください。
・充電完了後、再度充電を行なっても残り電池残量にかかわらず約4時間は充電を行ないます。
・リモコンの電池は約3日間（無警報、連続監視状態）使用できます。
　※使用頻度、リモコンの警報回数等により短くなる場合があります。
・リモコンを充電状態でも、アンサーバック機能は働いています。アンテナを伸ばした状態で、本体からの電波が受信可能な場所で充電を行ってください。

○充電の方法　　※充電中セキュリティを作動させている時はアンテナを十分伸ばして充電してください。

◆リモコンの充電
・リモコンのジャックカバーを外し、ACアダプターをリモコンに差し込みます。
・専用ACアダプターをコンセントへ差込みます。

◆充電を開始するとリモコンから電子音が鳴り表示部に"充電中"と表示されます。

◆充電が終了すると表示部に"充電完了"と表示されます。

緑色にバックライトが点滅します

充電完了

文字だけが表示されます

・充電を開始してもすぐに文字の表示がしない時がありますが、異常ではありません。
・リモコンの表示は表示の設定（P14）によって英語表示になります。

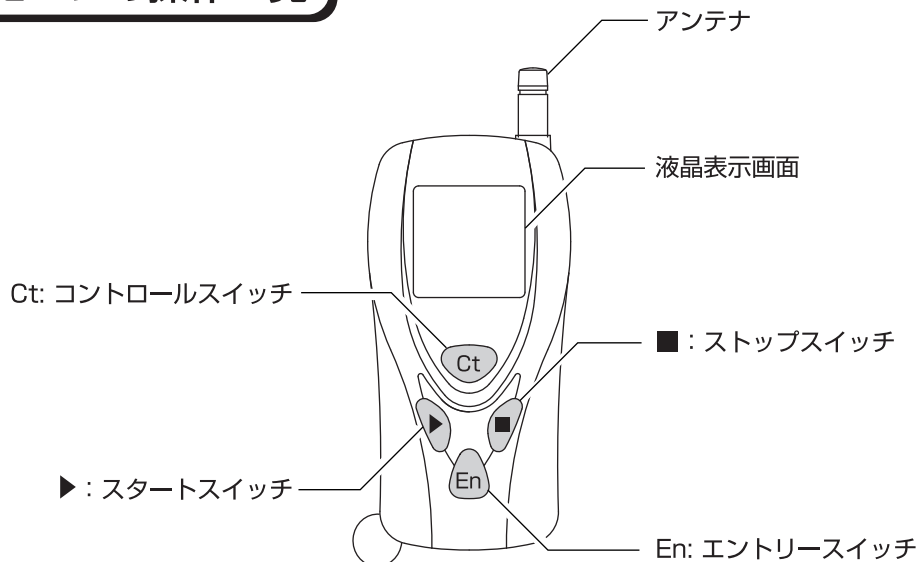
注意

・充電には必ず本製品の専用ACアダプターをご使用ください。
・セキュリティ作動中、リモコンの電池残量がなくなるとリモコンの電源がOFFになり警報を行ないません。リモコンの充電を行ないリモコン電源を ONにしてセキュリティを再度スタートさせリモコンに 表示（P11）をさせてください。
・充電は必ず家庭用電源（AC100v）で行ってください。
・充電中はリモコン操作をしないようにしてください。
・濡れた手で専用ACアダプターに触れないでください。
・充電中に異常（発煙・発火・異臭等）が発生した場合、ただちに電源を抜き、使用を中止してください。
・充電を行っていない時は専用ACアダプターをコンセントから抜いてください。

●電池交換について

・リモコン電池は、ニッケル水素電池を使用しています。充電を行っても作動しない等の状態が頻繁におこるようであれば電池の寿命が考えられます。お近くの商品取扱いの販売店でお買い求めの上、電池交換をして下さい。また、交換した電池はリサイクル可能なニッケル水素電池ですので、販売店にお渡しください。ご不明な点がございましたら、弊社サービス部までご連絡ください。

リモコンについて

◆リモコンの操作一覧

◆リモコン操作一覧

操作内容		動作内容	詳細ページ
操作１	操作2		
En長押し		電源スイッチ　ON/OFF	P11
En	▶	セキュリティスタート	P12
En	■	セキュリティストップ	P12
Ct	Ct	モードの設定	P13
▶長押し		リモコン音の設定	P13
■長押し		リモコン表示の設定	P14
Ct	En	パニックアラーム	P14
En	Ct	履歴表示	P14
Ct長押し		圏内/圏外表示	P12・17
En	En	リモコン ID登録１	P16
▶	■	追加リモコン ID登録2	P16
■	▶	追加リモコン ID登録3	P16

※操作１を押し液晶表示されている間に操作2をおこなってください。
　操作１のボタンを押すとは始めに待ち受け画面（P11）が表示されます。

注意
本製品で使用できない機能をリモコン操作により表示しますが本製品の機能以外は作動しませんので
ご了承ください。

リモコンについて

◆電源の入れ方

※使用しない時は電源をOFFにすると内蔵電池が長く使用できます。

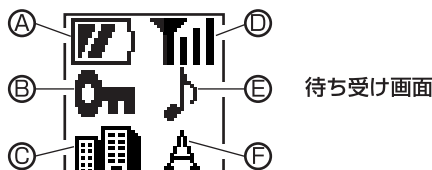
●リモコンの操作は電源を入れてから行います。

1 リモコンから音が鳴る迄（En）ボタンを押し続けます。	2 画面に”守護神”表示され、消えれば電源ONの状態です。

◇電源をOFFにするには
リモコンから音が鳴る迄（En）ボタンを押し続けます。画面に”Bye”表示され、消えれば電源OFFの状態です。

※SS-150+24Vを使用しない時はリモコンの電源をOFFにしてください。又、長期リモコンを使用しない時はリモコンの電池を取りはずしてください。
※リモコン電源をOFFにするとリモコンの警報は鳴りません。
※リモコンの電池残量がなくなった場合、リモコンの電源は切れます。充電した後リモコンの電源を入れてください。

◆待ち受け画面の説明

●最初にボタンを押すと待ち受け画面が表示され現在のリモコンの設定が表示されます。

待ち受け画面

Ⓐ 電池残量表示
リモコンの電池残量を表示します。

満充電です	電池残量に問題はありません	早めに充電をして下さい	充電して下さい すぐにリモコンが作動しなくなります。

注意！
電池残量表示は正確な物ではなく電池残量がばらつく場合がありますので目安としてお使いください。

Ⓑ セキュリティ作動表示
現在セキュリティが作動しているか表示します。セキュリティが作動していると鍵のマーク が点灯しセキュリティが停止していると鍵のマークは消灯します。

点灯	消灯
セキュリティ作動中	セキュリティ停止中

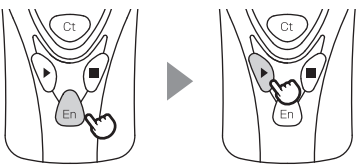
注意！
リモコンにカギのマークが点灯（待ち受け画面時）していないと、セキュリティが作動していても、リモコン警報は行ないません。追加リモコンでSS-150+24Vをスタートした場合もスタートさせたリモコンしかリモコン警報は行ないません。リモコンに警報を鳴らしたい場合は必ず警報を鳴らしたいリモコンでSS-150+24Vを再度作動させて下さい。

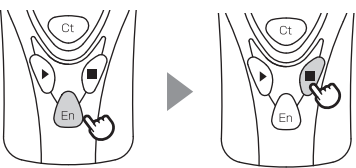
※リモコンに を表示させた状態でリモコンの電池がなくなった場合は充電して電源を入れても は消灯し、リモコン警報は行ないません。再度警報を鳴らしたいリモコンでセキュリティをスタートさせてください。

Ⓒ モード表示（P13）
何のモードでセキュリティを作動（スタート）するかを表示します。
※現在作動しているモードではありません。

Ⓓ 圏内/圏外表示（P12）
リモコン操作により車から電波の届く範囲にリモコンがあるかを表示します。

Ⓔ リモコン音表示（P13）
現在のリモコンアンサーバック音の設定を表示します。

Ⓕ リモコン文字表示（P14）
現在のリモコン文字表示言語の設定を表示します。

リモコンについて

◆守護神のスタート/ストップ

※エンジンを停止した時、車輌シガープラグの電圧が0Vにならない車輌は守護神をスタートする前にSS-150+24Vを車輌シガープラグから抜いて下さい。

●付属のリモコンで守護神のスタート/ストップを行ないます。
作動の確認をリモコンから文字と音で、メインユニットからはアラーム音でお知らせします。

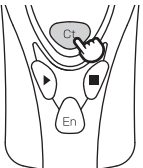
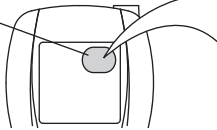
○守護神のスタート　※リモコンのアンテナを伸ばした状態で操作してください

1 リモコンの（En）ボタンを押し、待ち受け画面示中に（▶）ボタンを押します。

2 電波が届いて守護神がスタート（作動中）になるとリモコン液晶表示が緑色で”OK! ”と表示されます。電波が届かなかった場合は液晶表示が赤色で”NG! ”と表示されます。

守護神が作動した時

電波が届かなく作動しなかった時

○守護神のストップ　※リモコンのアンテナを伸ばした状態で操作してください

1 リモコンの（En）ボタンを押し、待ち受け画面表示中に（■）ボタンを押します。

2 電波が届いて守護神がストップ（停止）になるとリモコン液晶表示が緑色で”OK! ”と表示されます。電波が届かなかった場合は液晶表示が赤色で”NG! ”と表示されます。

守護神が停止した時

電波が届かなく停止しなかった時

※守護神をスタートした時、キャンセルタイマー作動中にもう一度守護神スタートの操作をするとキャンセルタイマー機能が解除されすぐに守護神が監視状態になります。
・リモコン音の設定で操作音アンサーバック音は違います。
・電波の状況によって守護神が作動してもリモコンに”OK! "と表示されないことがありますので、その時はもう一度リモコンでスタートさせてください。
・アンテナユニットのフラッシャーLEDが全部点灯している時は本体のIDが消失してますのでID登録をして下さい（P16）

◆圏内/圏外表示

※電波状況やリモコンの状態（アンテナや電池残量など）によって同じ場所でも始めは電波が届いても届かなくなる可能性があります。

●リモコンの操作で車輌アンテナとリモコンの電波が届く範囲にあるか確認できます。

1 リモコンの（Ct）ボタンを待ち受け画面表示内の圏内/圏外表示がするまで長押しします。

圏内/圏外部
※通常時は圏内/圏外表示はしません

待ち受け画面表示

○圏内の場合

車のアンテナとリモコンの電波が届く範囲の場合左のイラストが表示されます。

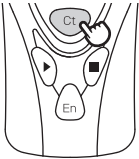
○圏外の場合

車のアンテナとリモコンの電波が届かない場合、左のイラストが表示されます

※初めは電波が届いたが電波状況や環境によって突然電波が届かなくあることがあります。
・リモコン音の設定で圏内/圏外音は違います。
・リモコン操作してから電波で確認している為すぐには圏内/圏外表示はされません。

リモコンについて

◆モードの設定

●車を止めた環境によってセンサーのON/OFFがリモコンの設定で簡単にできます。

○モード内容

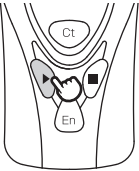
モードの種類	待ち受け画面表示	車を止めた状況	作動するセンサー	メインユニットスピーカー警報
スタンダードモード		通常使用の時に	全てのセンサーON	検出したセンサーの警報を鳴らします
シティモード		車の交通量が多く振動など受けやすい時など	人感センサーのみON	検出したセンサーの警報を鳴らします

※リモコンの警報は作動しているセンサーが反応した場合、全て警報を行ないます。

○モード設定操作方法

1 リモコンの（Ct）ボタンを押し、待ち受け画面表示中にもう一度（Ct）ボタンを押します。

2 操作 **1** をくり返すと表示が変わり設定したいモードで操作を止めます。守護神をスタートした時、設定したモードで作動します。

順番に表示が変わります
▶スタンダードモード
▼
シティモード

※一度設定すると待ち受け表示が設定したイラスト（モード内容欄）に変わり設定を変更しない限りモード設定は変わりません。

※セキュリティ作動中に再度モード設定を変更してリモコンでスタートした場合（追加リモコン含む）は変更したモードで作動します。
・リモコンでモード設定変更後、変更したリモコンでSS-150+24Vをスタートにより変更したモードが作動（スタート）します。
・リモコン音の設定で操作音は違います。

◆リモコン音の設定

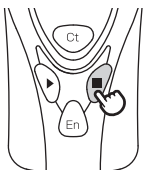
●リモコンのアンサーバック音を無音、アラーム音、メロディ音に変更することができます。

1 リモコンの（▶）ボタンを音がするまで長押しします。

2 操作 **1** をくり返すと表示が変わり（音も変わります）設定したい項目で操作を止めます。

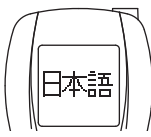
◇順番に表示が変わります

設定	リモコン設定音	待ち受け画面表示
無音	ピッ	OFF
アラーム音	ピッピッ	
メロディ音	ドレミレド	

※画面表示は設定により日本語、英語になります。

※リモコン操作音は変わりません。

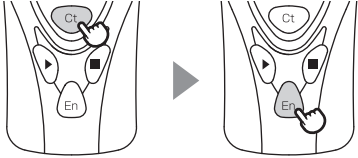
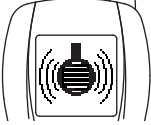
リモコンについて

◆リモコン表示の設定

●リモコンの表示文字を日本語、英語に変更することができます。

1 リモコンの（■）ボタンを液晶表示画面に文字が表示するまで長押しします。

2 操作**1**をくり返すと表示が変わり（音も変わります）設定したい項目で操作を止めます。

◇順番に表示が変わります

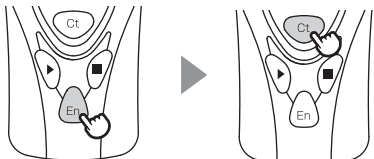
設定	リモコン音	待ち受け画面表示
日本語表示	ピッ	あ
English Screen（英語表示）	ピッピッ	A

※リモコン音の設定で操作音は違います。

◆パニックアラーム機能

●車内で危険を感じて周囲に知らせたい時、車に不審者が近付いた時などに電子音をメインユニットから30秒鳴らすことができます。

1 リモコンの（Ct）ボタンを押し、待ち受け画面表示中に（En）ボタンを押します。

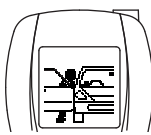
2 電波が届いてパニックアラームが作動するとリモコン液晶表示が緑色でイラスト表示されます。電波が届かなかった場合は液晶表示が赤色で”NG! ”と表示されます。

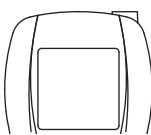
パニックアラームが作動した時

電波が届かなく作動しなかった時

※パニックアラーム警報を止めたい時は、リモコンで守護神ストップ操作（P12）を行なって下さい。

※リモコン音の設定で操作音アンサーバック音は違います。
・画面表示文字は設定により日本語、英語になります。

◆履歴表示

●リモコンに警報があった時、何の警報だったかリモコンで確認ができます。

1 リモコンの（En）ボタンを押し、待ち受け画面表示中に（Ct）ボタンを押します。

2 リモコンに何の警報があったか履歴（最後にあった警報）を表示します。

例：人感センサー検出時

・履歴があった場合

・イラストを表示し文字を表示します

・履歴がなかった場合

・何も表示はしません

※リモコンで守護神をスタートすると履歴がリセットされます。

※警報が続けてあった場合は新しい警報の履歴が表示され前の履歴は消失します。
・リモコン音の設定で操作音は違います。
・画面表示文字は設定により日本語、英語になります。

警報について

◆メインユニットの警報

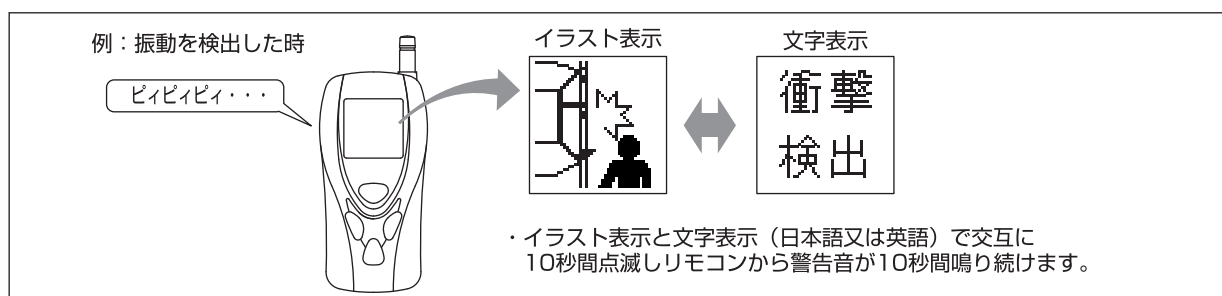
※キャンセルタイマー（P19）作動中やエンジンスターター作動中の場合など（シガーコード接続時）は警報は行ないません。

●SS-150+24V作動中に車のボディや窓を叩かれた時や、車内に人の侵入を検出したら本体の内蔵スピーカーで警報を鳴らします。

センサー	センサーが検出する時	メインユニットの警報音
振動センサー	車の窓やボディに衝撃を検出した時	アラーム音で約5秒
人感センサー	車のドアを開けられ人の侵入を検出した時	アラーム音で約30秒

※警報中はメインユニットのLEDランプが4個同時点滅します。
・振動センサーが検出して警報中に人感センサーを検出した時は、警報は切り替わり人感センサーの警報を行ないます。

◆リモコンの警報

●SS-150+24V作動中（監視中）メインユニットが信号を検出するとアンサーバックによりリモコンで音と文字、イラストでお知らせします。

※リモコン警報音、警報時間はリモコン音の設定（P13）によって変わります。（アラーム音設定時約10秒、メロディ設定時約7秒）
・衝撃警報中でも人感センサーが検出するとリモコン警報は切り替わります。
・リモコン音の設定（P13）を無音にすると警報音は鳴りません。
・リモコンのアンテナを伸ばすことにより電波の飛びが変化しますのでセキュリティ作動中はできるだけアンテナを伸ばした状態にしてください。

リモコンの登録について

◆リモコンのID登録（追加リモコンの登録）

※リモコン/追加リモコンのIDを本体に登録します。

●IDコードとは
リモコンはそれぞれ重複しないように「IDコード」が設定されておりメインユニットの「IDコード」と一致しなければ、本製品を始動させる事ができないようになっております。

●本製品は付属のリモコンとは別に2個のリモコンが追加できます。（全部で3個までのリモコンが使用できるようになります。）

必ず専用シガープラグコードを車のシガーソケットに差し込んだ状態で登録操作を行なってください。

●IDコードの登録方法（本製品停止状態から操作してください）

1 イグニッションキーをOFFの位置からACCの位置まで回し、OFFの位置まで戻します。
この動作を7回行います。（10秒以内で行なって下さい）※メインユニット充電ランプが連動して7回点滅します。

2 メインユニットから"ピーピーピー・・・"とブザーが鳴ります。

3 リモコンからIDを送信します。

●リモコン/追加リモコンを登録する場合
ブザーが鳴っている間に登録するリモコンのスイッチを押す。
・1つ目（付属のリモコン）を登録する時は（En）ボタンを押し、待ち受け画面表示中にもう一度（En）ボタンを押します。
IDが登録されると"ピッ"とメインユニットからブザーが1回鳴ります。
・2つ目（追加リモコン）を登録する時は（▶）ボタンを押し、待ち受け画面表示中に（■）ボタンを押します。
IDが登録されると"ピッ ピッ"とメインユニットからブザーが2回鳴ります。
・3つ目（追加リモコン）を登録する時は（■）ボタンを押し、待ち受け画面表示中に（▶）ボタンを押します。
IDが登録されると"ピッ ピッ ピッ"とメインユニットからブザーが3回鳴ります。

4 上記のようにブザーが鳴れば完了です。
・続けて追加リモコンを登録する場合はID登録完了後、少し時間（2〜3分）をおいてから **1** 又は 1 から操作を行います。

○イグニッションキーをOFFにしても車のシガープラグの電源がなくならない場合の登録方法

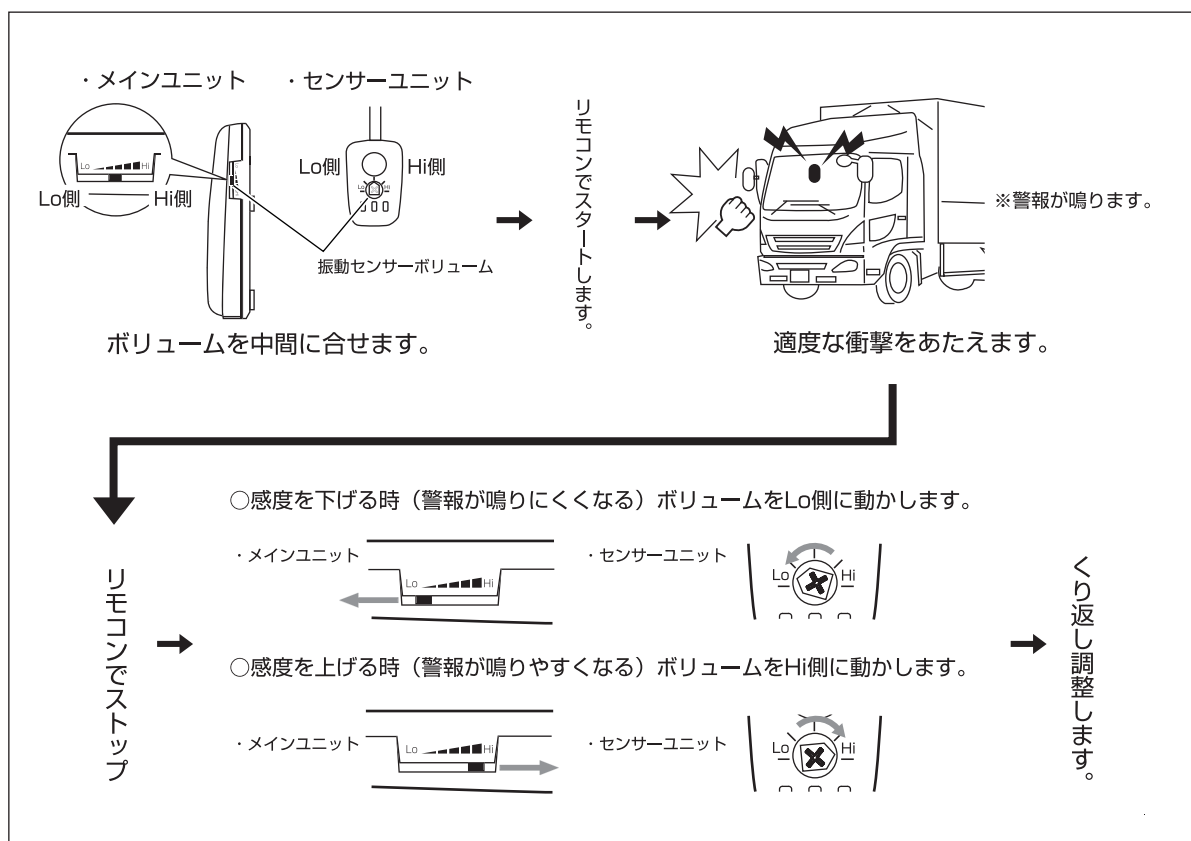
1 本製品停止状態からシガープラグを抜いて、車のエンジンをかけます。シガープラグを車のシガーソケットに差し込んで、抜いての動作を7回行ないます。最後に抜いた状態にしてください。

2 上記 **2** の操作から行なってください。

※ シガープラグをあまり抜き差しすると車が破損（傷など）する恐れがあります。注意して登録を行なってください。
・ 車輌シガープラグの抜き差しの変わりにSS-150+24Vメインユニット側、電源ジャックでのシガーコードの抜き差しでもID登録は行えます。
・ メインユニットのバッテリー残量がないと登録できません。充電してから行なってください。
・ IDコードの登録作業は10秒以内で行ってください。10秒以上かかるとID登録モードが解除されます。
（再度IDコードを登録する時は始めからIDコードの登録方法をしてください。）
・ IDコードは何度でも書き換えができます。（同じ操作で新しいIDコードを書き込むと、前回登録したIDコードは消去されます。）
・ 車輌のバッテリー交換や本製品の電源を外したり、車輌ノイズなどによりリモコンのIDコードが消失する場合があります。
その時はIDの再登録をしてください。

振動センサーの調整

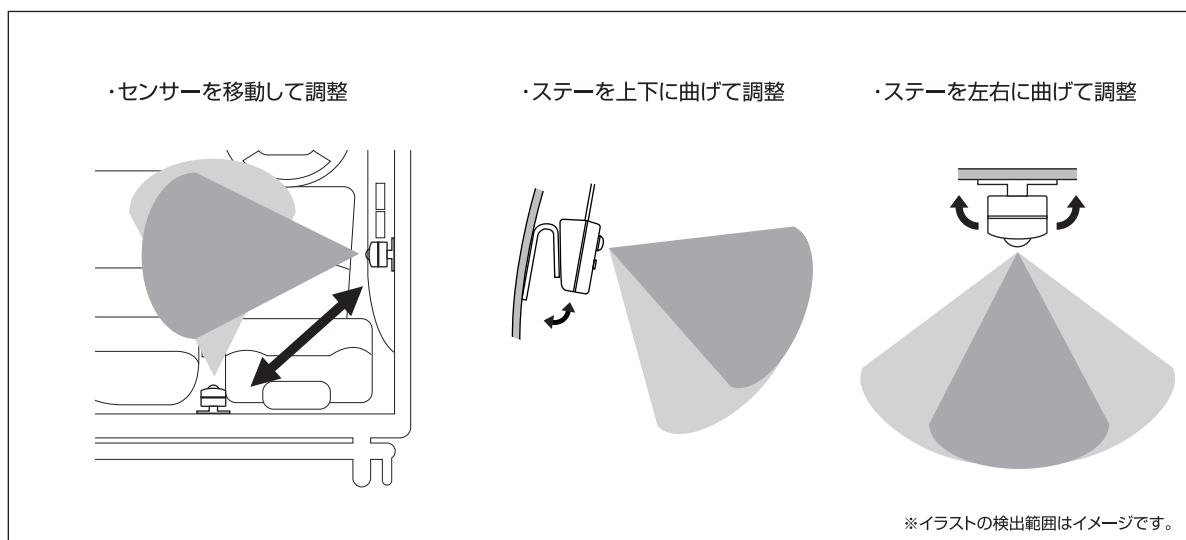
●車輌への衝撃を検出し、警報を行う為の振動センサーの感度を設定します。
※SS-150+24Vには振動センサーがメインユニット内とセンサーユニット内に搭載していますのでそれぞれ調整が必要になります。

1 振動センサーボリュームを中間の位置にあわせます。
2 車輌エンジンを切り、全てのドアを閉じます。
※駐車状態にします。
3 本製品をリモコンでスタートします。　※モード設定（P13）はスタンダードモードで行なってください。
4 キャンセルタイマー作動時、アンテナユニットのLEDが全点滅します。
※スタート後、キャンセルタイマー作動時は警報を行いません。
5 フラッシャーが全点滅から表示が変わった後（監視状態）車外から車輌に振動をあたえます。
6 適度な振動で、警報が行われる様に振動センサーボリュームを調整します。
※感度が弱い場合は振動センサーボリュームをLo側へ（警報しにくい）、強い場合はHi側へ（警報しやすい）少しずつ調整を行ってください。
必ずリモコンで本製品をストップ（P12）してから、振動センサーボリュームの調整を行ってください。

※車輌のボディサイズ・車体のボディの構造・取付け位置・振動を与える場所などによって振動センサーの感度は大きく影響します。
また感度を高めに設定した場合、雷、花火、改造車のマフラー音、大型車輌などの走行時の強い揺れ等を振動センサーが反応してしまう場合がありますのでご注意ください。
・振動をあたえて警報が鳴った後すぐに振動をあたえても約2秒間はセンサーは反応しません。警報が鳴っている間はセンサーは作動しません。
・センサーの調整で車輌に振動をあたえるのにボディのへこみ等に注意して下さい。
・調整ボリュームは力を入れて動かすとボリューム又はユニットが破損する恐れがありますので注意してください。

人感センサーの調整

●車輌への人の侵入を検出し、警報を行う為のセンサーの調整をします。

1 車輌エンジンを切り、全てのドアを閉じます。
※駐車状態にします。
2 本製品をリモコンでスタートします。　※モード設定（P13）はシティモードで行なってください。
3 キャンセルタイマー作動時、アンテナユニットのLEDが全点滅します。
※スタート後、キャンセルタイマー作動時は警報を行いません。
4 フラッシャーが全点滅から表示が変わった後（監視状態）車外からドアを開け車に乗り込みます。
5 車に乗り込んで、警報が鳴るように調整します。
※警報が鳴らない時はセンサーの検出できる範囲でない為、センサーユニットを動かしたりして下さい。

●警報が鳴らない時はセンサーユニットの取り付け位置の変更やセンサーステーを曲げてセンサーの角度を変えて調整して検出範囲を変更します。

※人感センサーは車内のみ検出可能なセンサーです。
・人感センサーは検出範囲がありますので車の形状、大きさによって人感センサーが作動しない場合があります。
・セキュリティをスタートさせる時は必ず車の窓ガラス、サンルーフなどを閉め切ってお使い下さい。
・SS-150+24V作動中に車内で電気製品（モニター、冷蔵庫など）を作動させると人感センサーが作動し警報を鳴らしますので使用しないで下さい。
・車内温度が変化しやすい物を車内に置いてSS-150+24Vを使用しないで下さい。

その他の機能

◆メインユニットの充電と充電ランプについて

●SS-150+24Vは車のアクセサリー電源を利用してメインユニットにエンジン始動中に充電を行ないエンジン停止後メインユニットの電池で作動します。

※はじめてお使いになる時は、メインユニット用電池を取付けて、車のエンジンをかけた状態で充電してから使用して下さい。
メインユニットの電池がない状態ではSS-150+24Vは作動しません。

ランプの状態	充電池の状態	
消灯	充電完了 満充電	エンジン始動中に充電を行ない満充電になって 充電が完了した状態です。 ※ランプが消灯している時は充電されていない状態です。
点滅	充電不足	メインユニットの充電が不足した時に点滅します。この状態で SS-150+24Vを作動させると作動しなかったり作動中でも充 電池が空になり途中でセキュリティが停止する場合があります。
点灯	充電中	エンジン始動中にアクセサリー電源を利用してメインユニットに 充電をしています。 ※電池残量に関係なく必ず4時間は充電しランプは点灯します。

注意.エンジンを停止しても車輌のシガープラグの電圧が0Vにならない車輌があります。その車輌の場合はエンジンを停止してもメインユニットの充電を行なう為、車輌バッテリーが上がる可能性がありますので車輌エンジン停止後は必ず車輌シガープラグからシガーコードを抜いて下さい。
・電池残量がなくなるとメインユニットから音がしたり、LEDランプが点灯したりしますが故障ではありません。

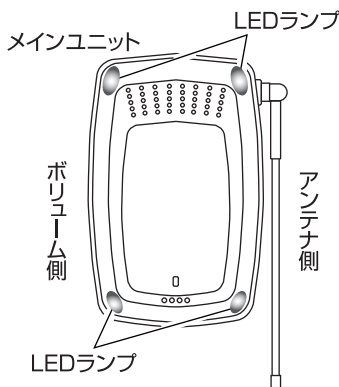
※充電はアクセサリー電源で行ないますのでシガープラグは常時シガーライターソケットに接続しておいて下さい。電池が空の状態であれば約4時間でフル充電できます。フル充電で約7日（無警報状態）連続監視が可能です。
・充電不足表示をしてもSS-150+24Vはスタート（作動）できますが、メインユニット監視中に電池容量がなくなるとSS-150+24Vがストップ（停止）します。
・電池は、ニッケル水素電池を使用しています。充電を行っても作動しない等の状態が頻繁におこるようであれば電池の寿命が考えられます。お近くの商品取扱いの販売店でお買い求め上、電池交換して下さい。また、交換した電池はリサイクル可能なニッケル水素電池ですので、販売店にお渡しください。ご不明な点がございましたら、弊社サービス部までご連絡ください。

◆キャンセルタイマーについて

●キャンセルタイマーとは･･･セキュリティをスタート（作動）又はエンジンスターターなどでエンジン停止後、電装品が動作しても30秒以内であればセンサーは作動せず警報を行いません。

※キャンセルタイマー作動中はメインユニットのLEDランプは全て点滅します。

◆メインユニットLEDランプについて

●メインユニットLEDランプの点灯/点滅によってSS-150+24Vの作動状態が確認できます。

LED表示	確認内容
4個同時点滅	キャンセルタイマー作動中・警報中
1個づつ周りながら点滅	監視中（作動中）
ボリューム側2個点滅	メインユニットに電波受信
アンテナ側2個点滅	メインユニットから電波送信
4個同時点灯	メインユニットのID消失（P16）

※LED表示が少し止まって表示する場合がありますが送受信の電波を確認してる為で異常ではありません。

その他の機能

◆守護神の強制スタート/ストップ

●リモコンを破損・紛失した場合などリモコンで本製品をスタート/ストップできない場合に本製品をスタート/ストップできます。

注意.リモコンの破損・紛失した場合などリモコンが操作できない時にだけ操作を行ってください。誤動作の原因になります。

◆必ず専用シガープラグコードを車のシガーソケットに差し込んだ状態で操作を行なってください。

●守護神のスタート（本製品が停止している状態から操作を行います）

1 イグニッションキーをOFFの位置からACCの位置まで回し、OFFの位置まで戻します。
この動作を6回行います。（10秒以内に行ってください）

2 上記操作開始から約10秒後にメインユニットからアラーム音が鳴りキャンセルタイマーが作動し本製品がスタート（始動）します。

○イグニッションキーをOFFにしても車のシガープラグの電源がなくならない場合の登録方法

1 本製品停止状態からシガープラグを抜いて、車のエンジンをかけます。シガープラグを車のシガーソケットに差し込んで、抜いて、この動作を6回行ないます。（10秒以内に行ってください） ※最後に抜いた状態になります。

2 車のエンジンを止めます。

3 上記操作開始から約10秒後にメインユニットからアラーム音が鳴りキャンセルタイマーが作動し本製品がスタート（始動）します。

注.SS-150+24Vを強制スタート（監視状態）にした時はリモコンでセキュリティをスタート操作し、リモコン待ち受け画面に（ ）セキュリティ作動状態表示をしない限りリモコンでの警報は行ないません。

※ シガープラグをあまり抜き差しすると車が破損（傷など）する恐れがあります。注意して行なってください。

・ メインユニットのバッテリー残量がないと守護神強制スタートはできません。充電してから行なってください。

●守護神のストップ（本製品が作動している状態から操作を行います）

1 イグニッションキーをOFFの位置からACCの位置まで回し、OFFの位置まで戻します。
この動作を5回行います。（10秒以内に行ってください）

2 上記操作終了後メインユニットからアラーム音が鳴り本製品がストップ（停止）します。

○イグニッションキーをOFFにしても車のシガープラグの電源がなくならない場合の登録方法

1 本製品作動状態からシガープラグを抜いて、車のエンジンをかけます。シガープラグを車のシガーソケットに差し込んで、抜いて、この動作を5回行ないます。（10秒以内に行ってください） ※最後に抜いた状態になります。

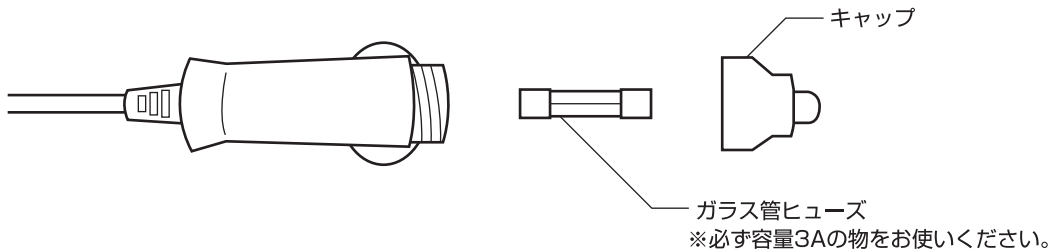
2 上記操作終了後メインユニットからアラーム音が鳴り本製品がストップ（停止）します。

※ シガープラグをあまり抜き差しすると車が破損（傷など）する恐れがあります。注意して行なってください。

その他

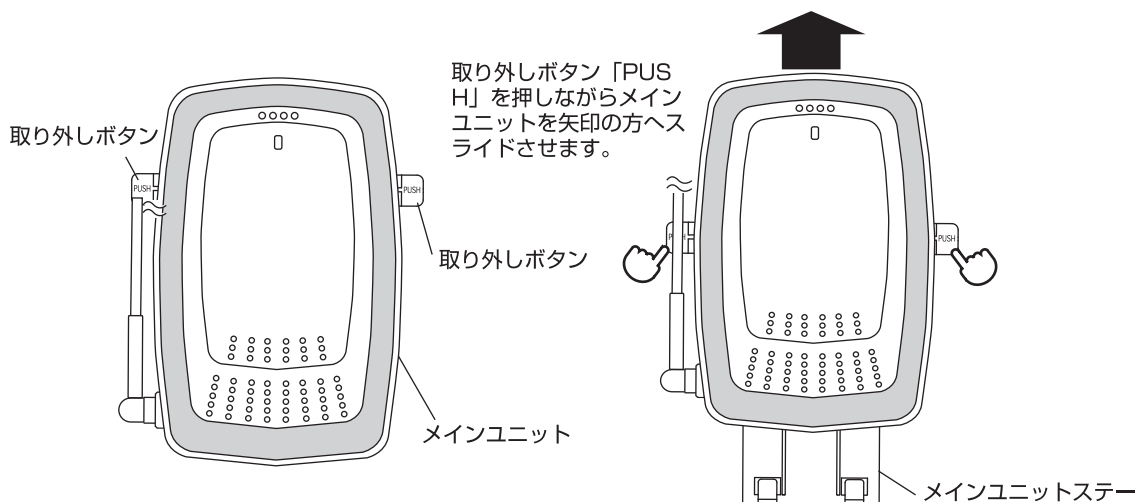
◆専用シガープラグコードについて

●専用シガープラグコードの内部にはガラス管ヒューズが使用されています。ヒューズ切れの際は指定の容量のガラス管ヒューズと交換してください。

・ヒューズの取り外しはキャップを左に回し外してください。

◆本製品修理について

●本製品の破損・点検・故障した場合、購入した販売店又はお近くの販売店へ修理の依頼・ご相談をしてください。
●修理・点検依頼された場合、修理期間中は別商品の貸出し（代替品）などのサービスは行っておりません。
●修理・点検期間中又は故障などによる作動不良時における車輌盗難、車上狙い、車輌へのイタズラ等が発生しても、弊社では一切の責任は負いかねます。
●リモコンを破損した場合は、販売店へ修理のご依頼・ご相談をしてください。又、修理不能（水に濡らしたなど）もしくは紛失された場合は新たにリモコンのみをご購入頂き再度ID登録を行うことで、ご使用できます。
※リモコンご購入時の注意：防犯上、安全の為に保証書の提示等をお願いする事があります。

◆メインユニットの外し方

●ユニットステーの下記図の取り外しボタン「PUSH」を2箇所、指で押しながらメインユニットを矢印の方へ上にスライドさせ持ち上げて取り外します。

故障かな？と思ったら

●本製品を使用中、正常に作動しない場合、点検・修理をご依頼される前に、下記表を参照してご確認ください。

症　状	確　認	対　策	ページ
リモコンでスタート/ストップしない	・正しく配線されていますか？	・シガーコードの車輌との接続を確認してください。	6・7
	・リモコンの電池が切れていませんか？	・リモコンの充電を行なってください。	9
	・メインユニットのバッテリーの残量はありますか？	・車のエンジンを始動し充電を行なってください。	19
	・シガーコードのヒューズは切れていませんか？	・ヒューズを交換してください。	21
メインユニットから警報が出力しない（振動センサー）	・モード設定がシティモードになっていませんか？	・モード設定をスタンダードモードにしてセキュリティをスタートさせて下さい。	13
	・調整ボリュームを鈍感（最小）に調整していませんか？	・調整ボリュームを敏感（最大）の方に少しづつずらし調整を行なって下さい。	17
リモコンから警報が出力しない（振動センサー）	・リモコンの電源は入っていますか？	・リモコンの電源を入れて下さい。	11
	・リモコンの設定で「無音」になっていませんか？	・リモコンの設定を変更して下さい。	13
リモコンに警報のアンサーバックしない	・追加リモコン又は車の鍵でセキュリティを作動させていませんか？	・警報を鳴らしたいリモコンで再度セキュリティを作動（スタート）させてください。	11・12
警報が出力しない（人感センサー）	・人感センサーの検出範囲に人などの検出がありますか？	・センサーユニットの移動やセンサーステーなどで人感センサーの検出範囲を調整して下さい。	18
車のバッテリーが上がる	・エンジンを停止してもシガープラグの電圧が0Vになりますか？	・エンジン停止した時はシガープラグからSS-150+24Vのシガーコードを抜いて下さい。	19
警報が出力しない（全ての警報）	・キャンセルタイマー機能は作動していませんか？	・キャンセルタイマー機能（30秒）が終了するのを待って下さい。	19
	・車のエンジンが始動していませんか？	・シガープラグにSS-150+24Vが接続してある場合エンジンがかかっている時は警報は行ないません。	15
なにもない状態で警報が出力される	・車内に動いたりする物はありませんか？	・車内に動く物があると人感センサーが作動しますので置かないでください。。	18
	・振動センサーの調整ボリュームを敏感（最大）にしていませんか？	・あまり敏感（最大）にボリュームを調整すると天候などの影響を受けるのでボリュームを下げて使用して下さい。	17
リモコンに『メモリチェク』と表示され作動しない	・リモコンのコンピューターに異常がある可能性がありますのでお手数ですが当社サービス部にご連絡ください。		